

estelon)
XB Diamond Mk II



Gloss Cobalt Blue / Gloss White

誰も目にすることがなかった、秀麗で革新的なフォルムが奏でる、
かつてなく純度高い音の姿。そんな極上のリスニング体験によって世界を魅了する
エステロンからのもう一つの提案、“XB Diamond Mk II”。
リアバスレフキャビネットが生む、躍動的でいてニュアンスに富む、緻密な音場。
あらゆる制約から解放たれて、いきいきと眼前に広がり、輝き出す音楽。
それは、かのフラッグシップ“Forza”に比肩する、エステロンの新たな力です。



estelon)

XB Diamond Mk II 3-way 3-speaker system



XB Diamond Mk II 3-way 3-speaker system

*The XB Diamond Mk II combines the best in sound and design,
which is the hallmark of Estelon products.*

*It will intensify the fidelity through its transparency, precision,
and the unprecedented detailed reproduction.*

音楽のエッセンスを抽出するための、優美な造形と高精度なエンジニアリング

その美しさは必然の帰結

優雅な曲線と曲面によって構成される、エステロンのスピーカーキャビネット。それは、パウダー状の大理石素材と、樹脂など共振点の異なる複合素材を融合し、1ピースとして継ぎ目なく鋳造成型するという、これまでのスピーカーとは一線を画すマニファクチャリングによって生み出されています。

その美しさは、独自の素材と構造による徹底的なノンレゾナンス設計を通じてドライバーユニット一つひとつの性能を最大限に引き出すために導き出された、必然の帰結。

同時にそれは、内部定在波を排除し、音波回折を可能な限り低減することによって各ドライバーの高精度なタイムアラインメントを実現し、明瞭な音像と豊かな音場を創成することを目的として音響学的に練り上げられた、必然の造型でもあります。

たとえばツイーターを配置したキャビネット中央部分を、リスニングポイントにおいて高域が最適の位相で再現されるよう絞り込む一方、ウーファーを配置した底部は、適正な指向性を保ちつつ音波が伝わるよう、容積と質量を大きくする設計になっています。

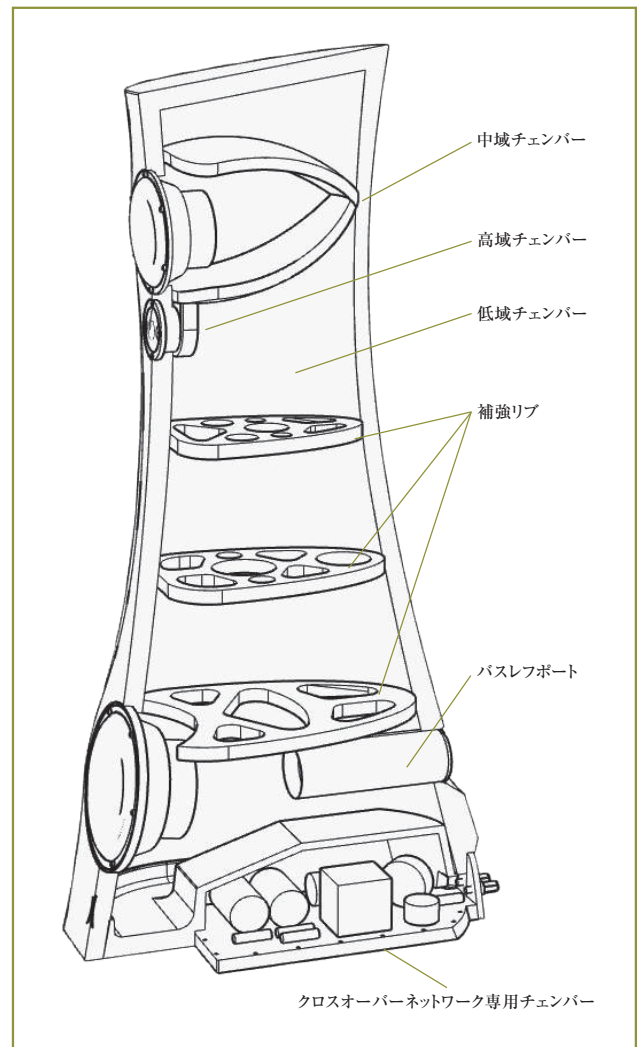
もちろん“XB Diamond Mk II”も、こうしたエステロンの音響哲学と美学をふまえ、ドライバーユニットの特性に合わせて精密に形づくられています。

バスレフ方式がもたらす力感

XB Diamond Mk IIでは、これまでの“Model YB”や、フラッグシップたる“Forza”と異なってリアバスレフ方式を採用、低域の量感と力感の拡充や群遅延の低減に向けた新たなアプローチを体現しています。低域再現性の強化する上で求められるのは、キャビネット構造のさらなる強靱化。XB Diamond Mk IIでは、内部3ヶ所にリブを組み込み、吸音材を効果的に併用して、素材そのものの剛性と強度を補完する設計とし、バスレフ方式が生み出す強大なエネルギーを受け止め、かつ活かしています。

独創のユニット配置

XB Diamond Mk IIは、“Model YB”や“Forza”同様、キャビネット最上部にミッドレンジ、その下にツイーターを配しました。正確な位相管理、音色の一体性を実現するためのコンフィギュレーションです。ミッドレンジとツイーターは、密閉型の専用チェンバーにマウントすることで、色づけない鮮やかな分解能、明瞭で緻密な中高域の再現性を獲得しています。一方、大口径バスレフポートに連なるチェンバーにマウントしたウーファーは、キャビネット最下部において設置面と音響的に結合することで、エネルギー感に富んだ迫真の低域再生を実現。さらに、ミッドレンジ、ツイーターよりわずかに前方へせり出すようマウントすることで、精密なタイムアラインメントを施しています。3本のドライバーユニットをスムーズに結ぶクロスオーバーネットワーク回路は、キャビネット最下部の専用チェンバーに収納。ドライバー



ユニットの振動による影響を排除することはもちろん、キャビネット容積を最大限確保することにも寄与しています。

クロスオーバーネットワークの再構築

XB Diamond MkIIでは、いっそう進化したキャビネットの力、各ユニットのポテンシャルを引き出し、立体的で透明感あふれるパフォーマンスを実現するため、クロスオーバーネットワーク回路を新規に設計。高域／中高域を2次 (-12dB/oct)、中高域／低域を3次 (-18dB/oct) カーブとし、クバラ・ソスナ社製純銅配線材や、ムンドルフ社製コンデンサー、無酸素銅コイルを採用するなど、いっさい妥協なくパーツ選定を行い、ハンドクラフトにて入念に組み上げています。

The XB Diamond Mk II features a 1" diamond tweeter, along with new cabling and a top-of-the-line crossover, that deliver extended high frequencies for a smooth and a resonant-free acoustic experience.

真正な音楽体験のためにカスタムメイドされ、最適化されたドライバーユニット



Diamond Tweeter

XB Diamond Mk IIは、フラッグシップモデル“Forza”同様、ドイツ Thiel & Partner 社のブランド“accuton”によりエステロン向けにカスタマイズされたドライバーユニットを搭載しています。

高域には、エステロンの考える最高水準の高域パフォーマンスを実現すべく、フラッグシップモデル“Forza”と同様のダイヤモンド逆ドームツイーターを惜しみなく採用。

ダイヤモンドは、ヴィッカーズ硬度10,000kg/m²、ヤング係数1,050GPaという、他の鉱物をはるかに凌ぐ硬度、あらゆる固体中最最高の音の伝播速度と原子密度を持ち、繊細な高域信号の再生を担う上では最適な物性をそなえた素材です。

XB Diamond Mk IIでは、この優れた素材をCVDと呼ばれる化学プロセスによってごく薄い膜に成型、25mm口径逆ドームとし、文字通り比類なく澄明かつハイスピードで高精度な再現性を発揮します。

Ceramic Mid Range

キャビネット最上部のミッドレンジには、アルミナ材セラミックダイアフラムによる158mm口径逆ドームを採用。ごく薄いアルミ膜に特殊な熱処理を施してアルミナを形成し、ナノレベルの多孔構造を持つ黒色のセラミック膜を生成した特別仕様で、軽量にして剛性が高く、しかも内部損失が大きいという、本来相反しながらもダイアフラムには不可欠な物性を、高い次元で妥協なく実現しています。

ベリリウムやCVDダイヤモンドに次ぐ、モース硬度9のきわめて高い硬度は、質量と剛性の理想的なバランスを獲得し、多孔構造とあいまって、優れたインパルス特性と低歪率、広い帯域特性を実現。音楽的な再現性の鍵となる中・低音域をナチュラルに再現します。



Ceramic Sandwich Woofer

低域を担うのは、ミッドレンジと同じアルミナ材セラミックダイアフラムをサンドウィッチ構造とした220mm口径逆ドームウーファー。高硬度、高剛性でありながら軽量で高内部損失という、理想的な特性をそなえたセラミックダイアフラムとケブラー複合材コアによるサンドウィッチ構造のカスタム仕様とし、重厚な低域の再現性に必要な強度を確保しています。

比類なく精度高い位相特性、歪みなく純度高いそのポテンシャルをフルに引き出すのは、充分な通気性を確保した38mmチタンボイスコイルとポールピースによる強靱な磁気回路システム。壮大なスケール感と、緻密な表現力のために考え抜かれた設計になっています。



Specifications

- 形式 3ウェイ3スピーカー、フロアスタンディング型
リアバスレフ方式
- 使用ユニット 高域：25mm口径 ダイヤモンド逆ドーム型
中域：158mm口径 セラミックダイアフラム
逆ドーム型
低域：220mm口径 セラミックサンドウィッチ構造
ダイアフラム逆ドーム型
- 周波数特性 22Hz ~ 60kHz
- クロスオーバー周波数 85Hz / 2.1kHz
- 出力音圧レベル 87dB / 2.83V
- 公称インピーダンス 6Ω
- スピーカー端子 シングルワイヤー端子
- 寸法 W420 × D590 × H1260mm
- 重量 (1台) 69kg

About Estelon

エステロンは、2010年、バルト三国の一角を成すエストニア共和国の首都タリンに設立されたハイエンドオーディオメーカーです。創業者であり、すべての製品設計を手がけているのは、アルフレッド・ワシルコフ (Alfred Vassilkov)。

祖国はかつてソビエト連邦に属し、自由なものづくりができない状況にありましたが、ワシルコフはそうした環境の中でもたゆまず自身の技

Cabinet Finish



Gloss Cobalt Blue



Gloss Black



Matte Black



Matte White



Gloss White

術を磨き、エストニア独立後、「世界最高峰のスピーカーを作りたい」という思いを実現すべく、自信の家族とともにエステロンを立ち上げました。

電気音響学に関する幅広い知見をふまえ、エストニアの美しい自然や独自の文化にインスピレーションを受けながら、ワシルコフは日々、革新的なスピーカーデザインを追求しています。



Alfred Vassilkov
(Founder / Chief Designer)



Alissa
(次女・Co-Founder / CEO)

Kristina
(長女・Co-Founder)



ArkGioia

株式会社アーク・ジョイア

〒112-0013 東京都文京区音羽 1-1-7 正進社ホールディングスビル 4階 03-6902-0480 www.arkgioia.com